

ホシガレイ漁獲魚を配合飼料に餌付させる方法

福島県水産資源研究所 種苗研究部

1 部門名

水産業一種苗研究（開発）—ホシガレイ

2 担当者名

伊藤貴之

3 要旨

種苗生産に使用するホシガレイ親魚は、放流種苗の遺伝的多様性を確保するため、漁獲された野生魚（以下、漁獲魚）を使用することが望ましい。ホシガレイ漁獲魚を採卵親魚として養成するにあたって、配合飼料に餌付させることで給餌作業の効率化が図られることから、ホシガレイ漁獲魚を配合飼料に餌付させるまでの方法と経過を整理した。試験に供した7尾のうち5尾が配合飼料に餌付き、餌付くまでに要した日数は2～33日であった。（表1）

- 令和6年2月26日から3月22日に本県沿岸で漁獲されたホシガレイを計7尾入手し、給餌開始から下表の①～④の行動を示すまでに要した日数を記録した。水槽の底に落ちている配合飼料を摂餌した段階で配合飼料に餌付いたと判断した。
- 配合飼料に餌付くまでに要した日数は2～33日と個体差が大きかったが、棒の先に付けたエビを摂餌した個体は、いずれ配合飼料に餌付くものと考えられた。
- 個体記号A、Gは摂餌することなく、入手から8日後、17日後にへい死した。

表1 給餌開始から各段階達成に要した日数について

(日)

	個体記号						
	A	B	C	D	E	F	G
①棒の先に付けたエビを摂餌した	-	2	5	0	0	0	-
②棒の先に付けた配合飼料を摂餌した	-	5	7	6	0	0	-
③落下してくる配合飼料を摂餌した	-	13	19	14	2	2	-
④水槽の底に落ちている配合飼料を摂餌した	-	28	26	33	7	2	-

4 成果を得た課題名

- 研究期間 令和3～7年度
- 研究課題名 ホシガレイ優良種苗生産技術の開発

5 主な参考文献・資料

なし